

## 特集

迫りくる大震災にどう備えるか  
—南海トラフ大地震を中心に—

- ◆ ピープル  
出会いと感動 1  
PLUG LLC 代表 吉成 佳泰
- ◆ なにわ医見  
“無駄”を省くが“備え”を省く 2  
—構造改革の副作用—  
(大阪狭山市・今井 真)

## ●論考

- 南海トラフ巨大震災とは  
—地震学から ④  
京都大学名誉教授 川崎 一郎
- 南海トラフ巨大地震が起これば大阪はどうなるのか ⑬  
関西大学社会安全研究センター長・教授  
工学博士(京都大学名誉教授)  
阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長  
河田 恵昭
- 南海トラフ巨大地震と原発事故  
—関西への影響予測 ⑳  
東京都市大学名誉教授、環境総合研究所顧問  
青山 貞一
- 大災害時の情報システム  
—現状と課題 ㉔  
東京大学大学院情報学環 教授  
総合防災情報研究センター長  
田中 淳
- 防災教育の課題と問題点 ㉘  
京都大学名誉教授 志岐 常正
- 東日本大震災対応の経験から見えてきた  
7つの教訓 ㉜  
東北大学病院 総合地域医療教育支援部 教授  
宮城県災害医療コーディネーター  
石巻赤十字病院 病院長特別補佐  
石井 正
- 日本型原発過酷事故、その原型について ㉙  
医療生協わたり病院 齋藤 紀
- 過去の震災から学ぶ緊急時への備えと対策 ㉜  
医療法人医誠会 医誠会病院 病院長  
近畿大学客員教授(救急医学)  
丸川征四郎
- 「みえない雲」から「吉里吉里人」まで  
—私たちは分断されてはならない ㉙  
大阪きつかわ医療福祉協成民主診療所 所長  
大里 光伸
- 福島に赴任して ㉚  
会津医療生協きたかた診療所 所長  
岡内 章
- 災害医療と価値意識  
—軍・産・官の思想ではなく ㉝  
本誌顧問 野村 拓
- 繰り返し襲ってくる災害に備えて  
—「稲むらの火」の教訓から ㉞  
本誌編集部員、大阪府保険医協同組合 監事  
守田 由雄

## 表紙のことば

## 「金鱗湖の朝霧」

金鱗湖は湖底から温泉と清水が湧く為冬の早朝に見られる幻想的な景色がとりわけ美しく素晴らしい光景に出会いました。その時の一枚です。

(平野区・吉田 一雄)



撮影日：2013年2月19日 早朝  
場所：由布院金鱗湖  
カメラ：Nikon COOLPIX P7700  
P オート ISO400

- ◆ 詰碁・詰将棋 19  
 関西棋院 本田邦久 九段 / 日本将棋連盟 有吉道夫 九段
- ◆ 桂蝶六の落語的交友録 其の四一 58  
 ちりとてちん〜カメラの眼差し・落語の眼差し〜  
 落語家 桂 蝶六
- ◆ 囲碁上達への道「悪手手直しクリニック」 60  
 序盤構想での出遅れ響く  
 関西棋院九段 滝口 政季
- ◆ クリニック防災マニュアル作成のヒント 62
- ⑩ 停電・洪水・高潮・台風・暴風 対応  
 株式会社MMP 代表取締役/認定登録医業経営コンサルタント  
 鈴木 竹仁
- ◆ 美術ライター・小吹隆文のお勧め美術展ニュース④ 64  
 「アンドレアス・グルスキー展」  
 「ウィリアム・ケントリッジ [時間の抵抗]」  
 「横尾忠則の『昭和 NIPPON』」  
 美術ライター 小吹 隆文
- ◆ 進取の気性・ブームを牽引する関西の作家たち⑦ 66  
 高田郁『銀二貫』  
 珈琲舎・書肆 アラビク/Luft 森内 憲
- ◆ 高槻新士のイチオシ!美酒らの店めぐり⑧ 68  
 北新地 ロハス 和彩処 酒肴人 三味人  
 日本酒文化ジャーナリスト 高槻 新士
- ◆ なにわの伝説 235 (なにわの郷土史 381) 70  
 大阪市歌  
 地域史研究者 三善 貞司
- ◆ なにわ友あれ 72  
 水夫ポパイのパイプ考  
 尼崎市 太田 崇喜

## INFORMATION

原稿募集	27
投稿募集	33
3月号予告	82
編集後記	82
<b>今月の広告</b>	
ご協力ありがとうございました	
文化部だより	表Ⅱ
FAX 直送便	81
文化部だより	表Ⅲ
株関西共同印刷所	表Ⅳ

◆「机上医療短篇集」はお休みします。

## 「アレルギー性鼻炎に対する新治療戦略」 ー予防という観点から

福井大学医学部感覚運動医学講座  
 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授  
 藤枝 重治